



きれいな字は、洗練された大人の必須スキル。手書きで字を書かなくなった現代だからこそ、字の綺麗な人は珍しく、周囲の目をひきつけます。

一、美しき心がけをもつ

会社や店先などでちょっとメモして見せたり名前を書いたりする時、何気なく適当に書いていませんか？
綺麗な字を書ける人は推定三割増しくらい印象が良く(編集室スタッフ私見)、洗練されたイメージを抱きます。
逆に適当な字の人は、どんなに身ぎれいな格好をしていても…。字の書き方はあなたの「人となり」を表していると言っても過言ではありません。
すぐに綺麗な字をかけるようにはなりません、ペンを持つ前の「綺麗に書こう」という心がけ次第で、いつもよりバランスの良い字を書くことはできます。これを日々積み重ねることが、達筆への第一歩。

二、美しき字間・配置が大切

全く同じ字でも、字の間隔や行間をうまくとって全体の配置を統一するだけで、読みやすく丁寧で上手な印象を与えます。他の字とのバランスを考えた、自然な間隔・配置を心がけましょう。

■ 字数別配置例

武田 五十嵐 谷 佐藤
浩太郎 彩子 洋平 太郎

定まった幅の欄に名前を書く際の例です。字数が多い場合は、どっしりと座りが良い幅広の字を書くことで美しくまとまります。

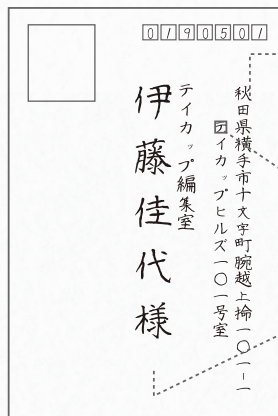
■ 字間調節



マスに書くような字間の空け方はNG。文字の縦幅を考え、隣り合う字によって臨機応変に書きましょう。

漢数字等は特に気をつけましょう。

■ 宛名の書き方



住所の右端は、郵便番号の右から2マス目に合わせます。

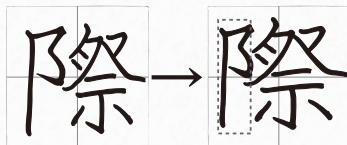
住所が長くなる場合、上2文字分を空けて書き出しましょう。

メインとなる宛名は中央に揃え、一番大きく書きます。

三、美しき裏技

上記をふまえたうえでこの裏技を使えば、くせの強い字の人でもすぐに上手な(または上手に見える)字が書けます。字を書く時の心がけを続けることで、どういうバランスで書けば美しく見えるのかが解ってきます。

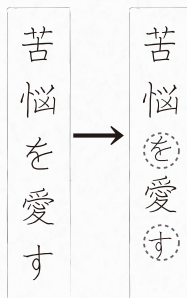
■ 漢字のバランス



画数の少ない字は大きく見えます。「ござとへん」などは小さくした方が納まりがよく、スタイリッシュな字に見えます。

■ ひらがなを小さく

文面に緩急がつき、読みやすくてまとまった印象を与えます。



それではみなさん、ちょっと字を書いてみましょう。少し綺麗になっていませんか？字を綺麗に書くためには積み重ねが大事。これらの法則を念頭において、サインする時でも綺麗に書くことを心がけましょう。